



パラダイス

ぼくたちの P

しょうがくかん
にしがきようこ作 小学館

中学二年の夏休み、おじさんに連れていかれたのは、
電気も通っていないただの山小屋だった。人に言えない
弱点を持つぼくは、弱みを見せまいと気をはって、学校
ではいつも一人だった。だけど、この山で作業している
大学生たちを手伝ううちに、仲間が必要とされていると感
じ、居心地よくなっていった。

ある嵐の夜、ぼくは弱点を逆手にとり、まさに伝説的な活躍で、お
じさんを助けることになる。

澄んだ空気と大自然が感じられ、
山登りがたくなる爽快な物語。

